

インフルエンザの流行警報の発令について

感染症発生動向調査における相模原市内のインフルエンザ発生の報告数が、第3週(平成30年1月15日から21日まで)に、1定点医療機関当たり57.32人となり、国立感染症研究所が定める「警報レベル」である30人を超えましたので、警報を発令したことをお知らせします。

なお、同週における迅速診断キットの結果はA型42.7%、B型57.3%と、B型が多く検出されています。

特に、乳幼児や高齢者、基礎疾患のある方などは、感染により重症化するおそれがありますので、「手洗いの習慣化」や「咳エチケットの徹底」による予防を徹底するとともに、感染が疑われる場合には、早めに受診し、周囲に感染を広げないように注意しましょう。

また、今シーズンの小・中学校等における学級閉鎖等の発生は、厚生労働省が定める報告開始日(平成29年9月4日)から平成30年1月24日までの累計で延べ293学級、欠席者2,426人(裏面参照)となっています。

【感染症発生動向調査について】

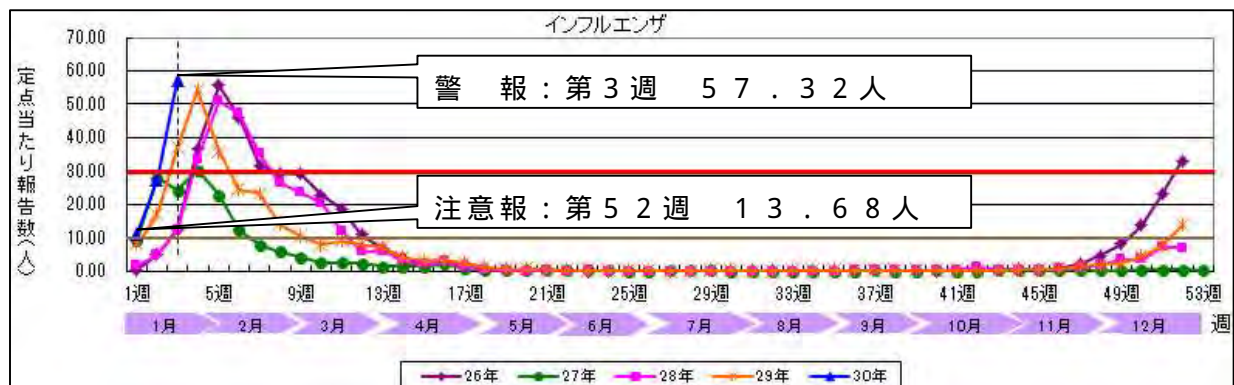
「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、定められた医療機関(定点医療機関)における感染症の発生状況を保健所が集計し、国に報告するものです。

本市の場合、インフルエンザについては、39か所の定点医療機関(法定の医療機関が23か所、市医師会の協力等による医療機関が16か所)から報告を受けています。

【最近6週間における1定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数】

期 間	12/11 ～ 12/17	12/18 ～ 12/24	12/25 ～ 12/31	1/1 ～ 1/7	1/8 ～ 1/14	1/15 ～ 1/21
報告数	4.32	7.61	13.68	11.17	27.22	57.32

【近年の傾向】



昨シーズンも第3週(平成29年1月16日から22日まで)に「警報レベル」を超えています。

【平成29年9月4日～平成30年1月24日までの学級閉鎖の状況】

区分	幼稚園	小学校	中学校	高校・その他	計
学級閉鎖数	6	232	53	2	293
欠席者数(人)	42	1,994	376	14	2,426

学級閉鎖数及び欠席者数は疾病対策課集計の件数になります。

【インフルエンザの予防について】

インフルエンザは、空気中に拡散されたウイルスによって感染しますので、人ごみを避けましょう。

手洗いは、感染予防の基本ですので、外から帰った時など、流水・石けんでこまめに手洗いをしましょう。

日頃から十分な栄養や休養をとりましょう。

室内では加湿器などを使って加湿しましょう。

インフルエンザワクチンの接種は、感染後に発症する可能性を下げる効果と、インフルエンザにかかった場合の重症化を防止する効果があると報告されています。

【咳エチケットとは】

咳・くしゃみをする時は、ティッシュで口と鼻を覆いましょう。

使用したティッシュはゴミ箱に捨て、その後はよく手を洗いましょう。

咳・くしゃみの症状がある方はマスクをしましょう。

問い合わせ先

疾病対策課 感染症対策班

担当：吉田・貴家（さすが）

電話：042-769-8260（直通）